

上海国際博覧会の全体概要

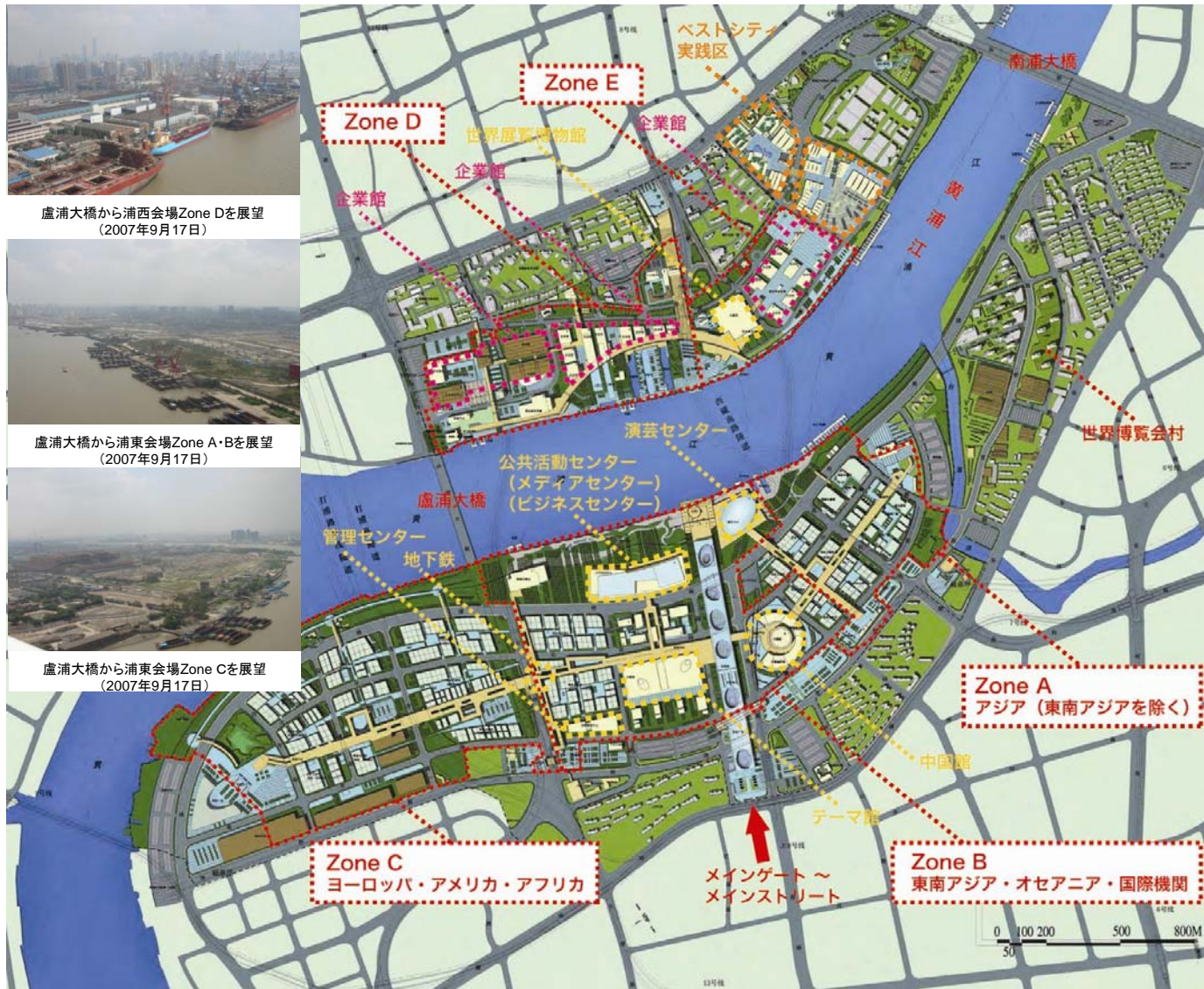
上海国際博覧会の概要 (詳細は<http://jp.expo2010china.com>)

1. 名称: 2010年上海国際博覧会
(Expo 2010 Shanghai China)
2. 性格: 国際博覧会条約に基づく登録博覧会
3. テーマ: より良い都市、より良い生活(Better City, Better Life)
4. 開催内容:
 - (1) 開催地: 中華人民共和国上海市
 - (2) 会期: 2010年5月1日～10月31日(184日間)
5. 会場面積: 328ヘクタール(愛・地球博の約2倍)
6. 参加申込み状況: 176(156ヶ国、20国際機関)
(平成19年11月6日現在)
7. 入場者数(目標): 7,000万人、
1日あたり平均約40万人
8. 日本館の出展面積: 6,000㎡ (米国、英国等と同規模)
延べ床面積(想定): 約10,000㎡



会場予定地

会場計画



盧浦大橋から浦西会場Zone Dを展望
(2007年9月17日)



盧浦大橋から浦東会場Zone A・Bを展望
(2007年9月17日)



盧浦大橋から浦東会場Zone Cを展望
(2007年9月17日)

エリア区分



- ・黄浦江を挟んで、「浦東エリア」(238ha)と「浦西エリア」(90ha)の2つのエリアで構成。
- ・恒久施設、歴史的建築の後利用計画など上海市の地域再開発計画と密接に連動。

黄浦江横断動線

黄浦江渡河交通システム



- ・黄浦江の横断は、河川トンネルがメイン、輸送フェリーは補助の位置づけ。
- ・VIP専用のフェリー輸送も、別途設定される。

中国側の上海国際博覧会準備状況

(1) 開催に向けたスケジュール(2007年以降)

2007年の主な予定

- パビリオン敷地引渡し(整地完了)
- 第2回国際参加者会議開催
- マスコット選定結果発表
- 中国館、テーマ館建設着工
- グローバルパートナーとの調印完了

2008年の主な予定

- ベストシティ実践区建設着工
- ボランティア募集開始
- 参加者及びパビリオンの配置決定
- シニアスポンサーとの調印完了
- 団体券販売開始
- 第一回政府代表会議開催
- 「盛大なオリンピック、素晴らしい万博」スペシャルイベント

2009年の主な予定

- 個人券販売開始
- レンタル館の引渡し
- オンラインEXPO実験開始
- 諸外国の行催事計画完了
- 共同館の引渡し
- ベストシティ実践区の展示完了
- 会場インフラの整備完了

2010年の主な予定

- カウントダウンイベント(100日、10日)
- 会場敷地経営を実施
- エキスポパークのテストラン
- 来場者向け資料の完成
- 上海万博開会式(5月1日)
- 上海万博閉会式(10月31日)

(2) 主な施設

中国館(恒久建築)

【テーマ】「都市発展における中華の智慧」

【面積】・敷地面積:6.52ha ・建築面積:地上5.3ha、地下2ha

国家館 2.5:地上2(うち展示面積1.2)、地下0.5

地方館 4.5:地上3(うち展示面積2)、地下1.5

香港館、マカオ館、台湾館 0.3:地上各0.1

【建築】中国のシンボリックな建築物として以下を体現

- ・博覧会のテーマと理念(理解、交流、団欒、協力)、「調和」を核とする中華の知恵
- ・都市発展がもたらした生活環境の改善、科学技術の刷新がもたらした社会生活の変化

【展示】

- ・様々な視聴覚効果を駆使して古今の中国の社会、経済、文化等を多方面から紹介
- ・著名な歴史的文化都市、現代の開放的な都市の特徴(歴史、現状、文化など)

テーマ館(恒久建築)

【面積】敷地面積11.5ha、建築面積8.5ha

【概要】「都市人」、「都市生命」、「都市プラネット」館は新築館であり、浦東エリアに位置し、それぞれの建築面積は15,000㎡。「都市文明」、「都市未来」館は古い工場建屋で改築されたもので、浦西に位置し、建築面積はそれぞれ20,000㎡、9,000㎡。

【展示】展示デザインと展示工事について募集が行われ、国内企業71社、海外企業44社の計115社が応募し、審査により16チームが最終選考に残った。日本の大手代理店も参加しており、最終選考に残っている。

(3) 広報活動

- 2007年3月20日～4月30日まで日本「上海ウィーク」を実施。
- 2007年8月5日より万博1000日前カウントダウンイベント実施。
- 1000日前に合わせて、2007年8月2日に上海万博WEB日本語版及び、雑誌「2010上海EXPO」(日本語版隔月発行)を創刊。
- 万博巡業展を開催
日程は以下の通り
上海(8月5日-9月9日)
南京(9月16日-23日)
北京(9月28日-10月7日)
杭州(10月25日-31日)
更に重慶、広州で開催予定。



万博巡業展の様子(上海)



世博軸イメージ図(目抜き通り)

上海国際博覧会への参加状況

企業館、スポンサーについて

企業館

企業館は新築14館、旧工場の改造2館の計16館を想定。うち中国企業10館、外国企業6館を想定。上海汽車・中国GM、中国移动通信の2グループは既に出展を表明。

ブランドスポンサー(50業種より、1業種1社を選定)

(1) グローバルパートナー (10~12社を予定)

* 既に参加決定したグローバルパートナー
 旅客航空 = 中国東方航空、
 移動通信サービス = 中国移动通信
 固定通信サービス = 中国電信
 自動車製造 = 上海汽車・中国GM
 銀行 = 交通銀行
 革新的インフラ、医療・保健 = シーメンス

(2) シニアスポンサー (15~20社を予定)

* 既に参加決定しシニアスポンサー
 ライセンス商品製造 = 上海均瑶(集団)、上海新世傲

その他、イベントスポンサー等あり。

インセンティブについて

ブランドスポンサーは以下のインセンティブが与えられる。

- 上海博ブランド使用权 (シニアスポンサーは中国本土、香港マカオ、台湾に限られる)
- パビリオン出展優先権 (会場内での独占商業権 (提供及び販売含む))
- イベント協賛優先権
- 入場券優待・各種便宜供与

ベストシティー実践区について

ベストシティー実践区は、上海万博の目玉展示であり、15haの敷地で行われる。万博テーマに基づき、人間、都市、地球、足跡、夢という5つの概念分野で、現在世界でベストシティー実践の流れを展示することに役立つ関係内容が選定される。「住みやすい家、持続発展可能な都市化、歴史遺産保護と利用、環境科学技術の革新の形成」という4つの展示分野がある。

* 9月20日時点で世界各国の89都市から111件を受理した。内訳は都市自薦が40件、国連教育科学文化機関の推薦が46件、世界銀行の推薦が25件。

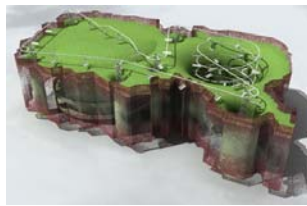
* 日本からは大阪府・大阪市が出展に前向きであり、横浜市が検討中。東京都、仙台市、名古屋市、堺市にも世博局より招請通知あり。

公式参加国について(独立館、共同館)

- 176(156カ国、20国際機関)が参加を表明(2007年11月6日現在)
- 4カ国が出展契約に調印(ウクライナ、ハンガリー、スイス、ルクセンブルク)
- 以下は既に公開されている、パビリオン外観図。この他、オランダ、オーストラリアもパビリオン設計コンペ完了。



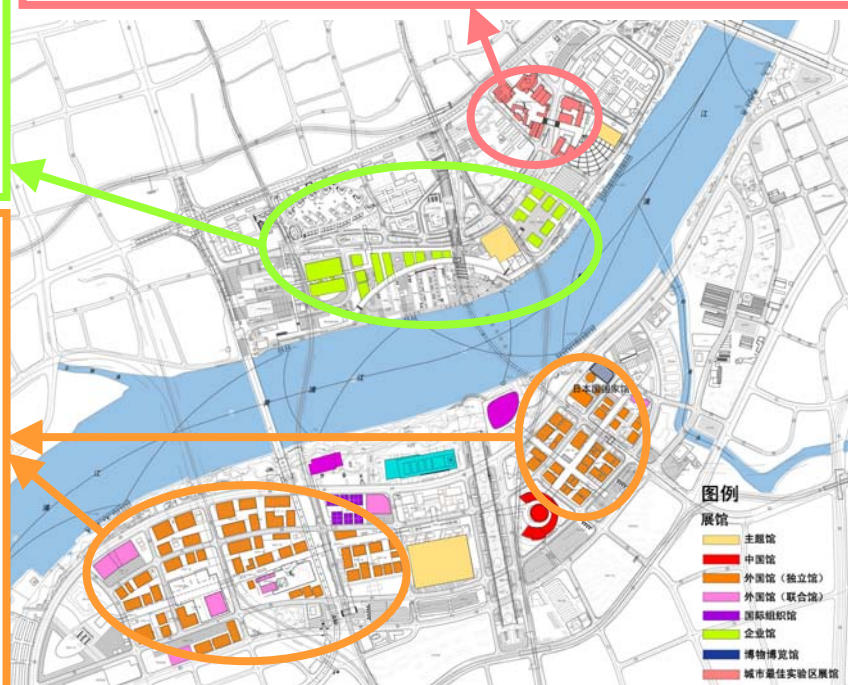
イギリス館



スイス館



ルクセンブルク館



- 图例
- 主展馆
 - 中国馆
 - 外国馆(独立馆)
 - 外国馆(联合馆)
 - 国际组织馆
 - 企业馆
 - 博物馆展馆
 - 城市最佳实践区展馆